

## 2 社会教育系施設

### (1) 図書館施設

図書、記録、その他必要な資料を収集・整理・保存し、市民に情報提供するとともに、市民の学習活動を支援する拠点施設として「西予市図書交流館」を設置しているほか、高山公民館、野村地域教育福祉複合施設、遊子川公民館、土居公民館、高川公民館、魚成公民館、三瓶文化会館内に図書分館 7 施設を設置しています。なお、各公民館にも図書室・図書スペースを設置しています。

### ア 施設概要 (経過年数は令和 4 (2022) 年 3 月 31 日現在の状況。状況説明・収支はコロナ禍の影響が少ない令和元 (2019) 年度の実績。)

番号	地域	地区	施設名	基本情報												備考	施設番号
				複合施設	構造	建築年	経過年数	延床面積 (㎡)	耐震性	貸室稼働率 (%)	管理運営	職員数 (人)	支出 (千円)	収入 (千円)	利用者数 (人) (日平均)		
1	明浜	高山	西予市図書交流館明浜分館		RC	1980	42	48.00	○	-	直営	公民館職員が対応	公民館の費用に一括計上	355	高山公民館	122	
2	宇和	宇和	西予市図書交流館	○	W	2019	3	2,170.81	○	23.0	直営	正3 非5	32,348	159	88,200	交流施設	22201
3	野村	野村	西予市図書交流館野村分館	○	RC	2015	7	846.81	○	3.0	直営	正0 非3	10,423	103	18,921	野村児童館のむらキッズ	169
4	城川	遊子川	西予市図書交流館遊子川分館		RC	1996	26	27.75	○	-	直営	公民館職員が対応	公民館の費用に一括計上	38	遊子川公民館	137	
5	城川	土居	西予市図書交流館土居分館		RC	1967	55	24.50	△	-	直営	公民館職員が対応	公民館の費用に一括計上	160	土居公民館	138	
6	城川	高川	西予市図書交流館高川分館	○	RC	1985	37	30.00	○	-	直営	公民館職員が対応	公民館の費用に一括計上	168	高川公民館・農村環境改善センターたかがわ	139	
7	城川	魚成	西予市図書交流館魚成分館	○	RC	1993	29	31.00	○	-	直営	公民館職員が対応	公民館の費用に一括計上	65	魚成公民館・農村環境改善センターうおなし	140	
8	三瓶	三瓶	西予市図書交流館三瓶分館	○	SRC	1990	32	350.00	○	-	直営	正0 非3	5,738	0	13,707	三瓶文化会館・三瓶東公民館	117
9	明浜	俵津	西予市俵津公民館 (図書室)	7-1 高齢者福祉施設・西予市明浜老人福祉センターに含む												355	
10	明浜	狩江	西予市狩江公民館 (図書室)	1-1 公民館及び分館・西予市狩江公民館に含む												123	
11	宇和	多田	西予市多田公民館 (図書室)	1-1 公民館及び分館・西予市多田公民館に含む												125	
12	宇和	皆田	西予市下宇和公民館 (図書室)	1-1 公民館及び分館・西予市下宇和公民館に含む												129	
13	三瓶	蔵貫	西予市三瓶南公民館 (図書室)	1-1 公民館及び分館・西予市三瓶南公民館に含む												141	
14	明浜	田之浜	西予市田之浜公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市田之浜公民館に含む												121	
15	宇和	中川	西予市中川公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市中川公民館に含む												126	
16	宇和	石城	西予市石城公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市石城公民館に含む												127	
17	宇和	明間	西予市明間公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市明間公民館に含む												130	
18	宇和	田之筋	西予市田之筋公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市田之筋公民館に含む												128	
19	野村	大和田	西予市大和田公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市大和田公民館に含む												730	
20	野村	溪筋	西予市溪筋公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市溪筋公民館に含む												132	
21	野村	中筋	西予市中筋公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市中筋公民館に含む												133	
22	野村	横林	西予市横林公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市横林公民館に含む												135	
23	野村	惣川	西予市惣川公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市惣川公民館に含む												136	
24	三瓶	二木生	西予市三瓶北公民館 (図書スペース)	1-1 公民館及び分館・西予市三瓶北公民館に含む												142	

注釈: 西予市図書交流館については、まなびあん1406.11㎡、交流施設764.70㎡全体の延床面積を記載しています。  
西予市野村児童館全体の延床面積1591.41㎡の内訳(西予市野村児童館374.85㎡、西予市図書交流館野村分館846.81㎡、のむらキッズ(放課後児童クラブ)369.75㎡)  
図書交流館分館及び各公民館図書室・図書スペースの延床面積は、併設する公民館の内数となります。

### イ 現状と課題

図書室・図書スペースを除く西予市図書交流館(まなびあん)以外はすべて他の公共施設との併設で、8施設のうち7施設は耐震基準を満たし、1施設は旧耐震基準の建物で、建築から50年以上が経過し老朽化が顕著となっています。

開館日・開館時間は以下のとおりで、管理運営は全て市直営で行い、西予市図書交流館(ま

なびあん) と野村・三瓶 2 つの分館の管理運営費の総額は人件費を含め 48,509 千円で、図書館法の規定により図書館の使用料は無料ですが、貸館の使用料など 262 千円の収入があります。明浜・遊子川・土居・高川・魚成の 5 つの分館は公民館の職員が対応し、管理運営費は公民館費に一括計上しています。

施設名	開館日	開館時間
西予市図書交流館	年末年始、月曜日、月末日、図書特別整理期間を除く毎日	10:00～20:00
野村・三瓶分館	年末年始、月曜日、月末日、祝日、図書特別整理期間を除く毎日	平日=9:30～18:00 土日=9:30～17:00
明浜・遊子川・土居・高川・魚成分館	年末年始、土日曜日、祝日を除く毎日	8:30～17:15

図書館では、図書、雑誌等資料の閲覧・貸出・レファレンスサービスなど市民サービスを実施し、蔵書数 254,441 冊（開架図書 178,484 冊、閉架図書 75,957 冊）、AV 1,826 点を所蔵し、登録者数は約 15,500 人、年間利用者数は約 121,600 人、年間貸出数は約 181,600 冊・点となっています。また、4 カ月児健診時、3 歳児健診時の絵本プレゼント(約 550 冊)や各公民館図書室・図書スペースへの提供、保育所や幼稚園、小・中学校への団体学級文庫への提供(約 9,000 冊)、館内外でのお話し会(60 回・参加者数約 1,200 人)を実施。その他、読み聞かせグループとの連携や映画の上映会、講座を実施(66 回・参加者数約 2,200 人)しています。

## 【各施設の状況】

### 1 西予市図書交流館明浜分館

高山公民館との複合施設で、鉄筋コンクリート造 3 階建て・延床面積 1,219 m<sup>2</sup>のうち分館は 1 階部分 48 m<sup>2</sup>を使用しています。1980(昭和 55)年に旧耐震基準で建設し、耐震改修工事を実施し耐震基準は満たしていますが、建築から 42 年経過し老朽化が進んでいます。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

分館は開架スペースのみで構成。総数約 10,000 冊・点の蔵書(開架図書のみ)があり、利用者は約 400 人。貸出数は約 700 冊・点となっています。

### 2 西予市図書交流館

図書館棟と交流施設棟等からなり、木造 2 階建て・延床面積 2,170 m<sup>2</sup>のうち 1,406 m<sup>2</sup>を図書館棟として使用しています。2019(平成 31)年に新耐震基準で建設し、建築から 3 年経過しています。

管理運営費は人件費を含め 32,348 千円を支出し、貸館による施設使用料として 159 千円の収入があります。

図書館棟は図書開架スペース、学習室、サイレントルーム、おはなしの部屋、図書閉架スペース等で構成。総数約 93,100 冊・点の蔵書(開架 68,800 冊・閉架 23,300 冊)があり、利用者は約 88,200 人。貸出数は約 98,700 冊・点となっています。また、お話し会や上映会、講座等の事業を 64 回行い、約 2,000 人が参加しています。

なお、交流施設棟等の社会教育複合施設は、会議室(稼働率 20%)、多目的ホール(同 26%)等で構成し、社会教育・生涯学習・地域団体活動で使用され、約 7,100 人が利用しています。

### 3 西予市図書交流館野村分館

野村キッズ、野村児童館との複合施設で、鉄筋コンクリート造 2 階建て・延床面積 1,628 m<sup>2</sup>のうち分館は 1 階部分 846 m<sup>2</sup>を使用しています。2015(平成 27)年に新耐震基準で建設し、建

築から7年経過しています。

管理運営費は、人件費を含め10,423千円を支出し、自動販売機設置による使用料等103千円の収入があります。

分館は図書開架スペース、談話室（稼働率5%）、相談室（同1%）、図書閉架スペース等で構成。総数約79,500冊・点の蔵書（開架46,200冊・閉架33,300冊）があり、利用者は約18,900人。貸出数は約45,300冊・点となっています。また、お話し会や上映会などの事業を36回行い、約950人が参加しています。

#### 4 西予市図書交流館遊子川分館

遊子川公民館との複合施設で、鉄筋コンクリート造2階建て・延床面積735㎡のうち分館は2階部分27㎡を使用しています。1996（平成8）年に新耐震基準で建設し、建築から26年経過しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

分館は開架スペースのみで構成。総数約3,500冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約100人。貸出数は約100冊となっています。

#### 5 西予市図書交流館土居分館

土居公民館との複合施設で、鉄筋コンクリート造2階建て・延床面積505㎡のうち分館は1階部分24㎡を使用しています。1967（昭和42）年に旧耐震基準で建設し、耐震診断・耐震改修は未実施で、建築から55年経過し老朽化が顕著となっています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

分館は開架スペースのみで構成。総数約5,500冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約200人。貸出数は約300冊となっています。

#### 6 西予市図書交流館高川分館

西予市高川公民館との複合施設で、鉄筋コンクリート造2階建て・延床面積1,061㎡のうち分館は1階部分30㎡を使用しています。1985（昭和60）年に新耐震基準で建設し、建築から37年経過し老朽化が進んでいます。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

分館は開架スペースのみで構成。総数約5,800冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約200人。貸出数は約300冊となっています。

#### 7 西予市図書交流館魚成分館

西予市魚成公民館との複合施設で、鉄筋コンクリート造1階建て・延床面積833㎡のうち分館は1階部分31㎡を使用しています。1993（平成5）年に新耐震基準で建設し、建築から29年経過しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

分館は開架スペースのみで構成。総数約5,300冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約100人。貸出数は約100冊となっています。

#### 8 西予市図書交流館三瓶分館

三瓶文化会館及び三瓶東公民館との複合施設で、鉄骨鉄筋コンクリート造3階建て・延床面積4,282㎡のうち分館は1階部分350㎡を使用しています。1990（平成2）年に新耐震基準で建設し、建築から32年経過しています。

管理運営費は人件費を含め5,738千円（施設管理費は三瓶文化会館に計上）を支出し、収入はありません。

分館は図書開架スペースと図書閉架スペースで構成。総数約51,800冊・点の蔵書（開架34,900冊、閉架16,900冊）があり、利用者は約13,700人。貸出数は約36,100冊・点となっ

ています。また、お話し会や講座などの事業を 26 回行い、約 420 人が参加しています。

#### 9 西予市俵津公民館（図書室）

西予市俵津公民館内にある図書室で、1 階部分 30 m<sup>2</sup>を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書室は開架スペースのみで構成。総数約 900 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 20 人。貸出数は約 200 冊となっています。

#### 10 西予市狩江公民館（図書室）

西予市狩江公民館内にある図書室で、1 階部分 28 m<sup>2</sup>を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書室は開架スペースのみで構成。総数約 890 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 10 人。貸出数は約 60 冊となっています。

#### 11 西予市多田公民館（図書室）

西予市多田公民館内にある図書室で、1 階部分 54 m<sup>2</sup>を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書室は開架スペースのみで構成。総数約 3,000 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は 0 人。貸出数は 0 冊となっています。

#### 12 西予市下宇和公民館（図書室）

西予市下宇和公民館内にある図書室で、1 階部分 24 m<sup>2</sup>を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書室は開架スペースのみで構成。総数約 1,000 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 50 人。貸出数は約 10 冊となっています。

#### 13 西予市三瓶南公民館（図書室）

西予市三瓶南公民館内にある図書室で、1 階部分 28 m<sup>2</sup>を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書室は開架スペースのみで構成。総数約 800 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 40 人。貸出数は約 200 冊となっています。

#### 14 西予市田之浜公民館（図書スペース）

西予市田之浜公民館内にある図書スペースで、大ホールを使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 850 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 50 人。貸出数は約 110 冊となっています。

#### 15 西予市中川公民館（図書スペース）

西予市中川公民館内にある図書スペースで、1 階ロビーの一角を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 250 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 15 人。貸出数は約 20 冊となっています。

#### 16 西予市石城公民館（図書スペース）

西予市石城公民館内にある図書スペースで、1 階ロビーの本棚を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 312 冊の蔵書（開架図書のみ）があ

り、利用者は約 13 人。貸出数は約 36 冊となっています。

#### 17 西予市明間公民館（図書スペース）

西予市明間公民館内にある図書スペースで、1 階ロビー・研修室の一角を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 300 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 30 人。貸出数は約 40 冊となっています。

#### 18 西予市田之筋公民館（図書スペース）

西予市田之筋公民館内にある図書スペースで、1 階ロビーの一角を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 450 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 10 人。貸出数は約 30 冊となっています。

#### 19 西予市大和田公民館（図書スペース）

平成 30 年豪雨災害により被災したため、令和 3 年 4 月から令和 3 年 12 月の実績を記載しています。

西予市大和田公民館内にある図書スペースで、会議室①を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 250 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 20 人。貸出数は 7 冊となっています。

#### 20 西予市溪筋公民館（図書スペース）

西予市溪筋公民館内にある図書スペースで、1 階ロビーの一角を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 500 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 30 人。貸出数は約 50 冊となっています。

#### 21 西予市中筋公民館（図書スペース）

西予市中筋公民館内にある図書スペースで、1 階ロビーの一角を使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 500 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 30 人。貸出数は約 50 冊となっています。

#### 22 西予市横林公民館（図書スペース）

西予市横林公民館内にある図書スペースで、1 階ロビーを使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 400 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 30 人。貸出数は約 50 冊となっています。

#### 23 西予市惣川公民館（図書スペース）

西予市惣川公民館内にある図書スペースで、1 階ロビーを使用しています。管理運営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 400 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 50 人。貸出数は約 80 冊となっています。

#### 24 西予市三瓶北公民館（図書スペース）

西予市三瓶北公民館内にある図書スペースで、ホールの一部を使用しています。管理運

営費は公民館費に一括計上しています。

図書スペースは開架スペースのみで構成。総数約 170 冊の蔵書（開架図書のみ）があり、利用者は約 60 人。貸出数は約 150 冊となっています。

### 【課題の整理】

図書館は、これまで図書、記録その他必要な資料の収集・整理・保存を中心に運営を行ってきましたが、近年は滞在型の利用者が増加している一方、インターネットでの検索や予約が可能となるなど在宅での利用環境の整備も進んでいます。

また、これからの時代における図書館の役割として、資料の提供に加え、地域課題の解決に取り組む市民の自主的な学習活動の支援や情報提供が求められています。

施設の面では、西予市図書交流館は図書館棟と交流施設棟等からなる社会教育複合施設として市民の生涯学習拠点となっていることから、計画的な改修を行っていく必要があります。また、野村分館は、のむらキッズ、野村児童館を併設する野村地域教育福祉複合施設として地域の生涯学習の拠点として継続使用することから、計画的な改修が必要です。

両施設とも直営で管理運営しており、上記の市民ニーズや時代の要請に応えた図書館のあり方を検討する中で、効果的かつ効率的な管理運営手法についても検討が必要です。

三瓶文化会館や公民館に併設する各分館、他の公民館図書室については、各施設の一室を使用して設置していることから蔵書の収蔵能力が限界となっており、市民の求める新刊の購入への対応については、図書館とのネットワークを構築し、リクエストに応じていますが、利用者数（貸出し数）は低い状況となっています。改めて、図書館の機能、配置のあり方について見直しが必要です。

## ウ 基本方針と個別施設の方向性、スケジュール

### 【基本方針】

#### 【機能】

図書館は、これまで、図書、記録その他必要な資料の収集・整理・保存を中心に運営してきましたが、インターネットによる検索や予約が可能になるなど、在宅における利用環境の整備が進んでいる一方、近年は、滞在型の利用者が増加していること、新たに地域課題の解決に取り組むための市民の学習活動の支援や情報提供の役割が求められていることなどから、図書館機能は継続します。

なお、三瓶文化会館、公民館に併設の分館については、利用実態を精査し、分館としての機能、配置のあり方について検討します。各公民館図書室・図書スペースについても、地域づくり活動センター後の利用状況を踏まえて、機能、配置のあり方について検討します。

#### 【建物】

西予市図書交流館と野村分館については、市民の生涯学習の拠点として計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。それ以外の各分館については併設の計画にあわせて対応します。

#### 【管理運営】

効果的・効率的な管理運営手法について、行政の役割を明確にした上で、指定管理者制度を活用した図書館全体の一括運営や、複合施設である特性を踏まえた包括的な施設管理手法など民間活力を活用した管理運営手法について費用対効果を検証し検討します。

## 【個別施設の今後の方向性】

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能(ソフト)	建物(ハード)		
1	明浜	高山	西予市図書交流館明浜分館	検討	維持(改修)		高山公民館に併設しており、旧耐震基準の建物で建築から42年経過し老朽化が進んでいますが、耐震改修・長寿命化工事を実施していることから、必要な改修を行い継続使用します。
2	宇和	宇和	西予市図書交流館	継続	維持(長寿命化)		交流施設との複合施設で市民の生涯学習活動の拠点として継続します。施設は、新耐震基準を満たし建築から3年経過の建物で、今後も継続使用することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。
3	野村	野村	西予市図書交流館野村分館	継続	維持(長寿命化)		野村キッズ、野村児童館との複合施設で、市民の生涯学習活動の拠点として継続します。施設は新耐震基準を満たし建築から7年経過の建物で、今後も継続使用することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。
4	城川	遊子川	西予市図書交流館遊子川分館	検討	維持(長寿命化)		遊子川公民館に併設しており、耐震基準を満たし建築から26年経過しており、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。
5	城川	土居	西予市図書交流館土居分館	検討	建替		土居公民館に併設しており、旧耐震基準の建物で耐震診断・耐震改修工事は未実施で、建築から55年経過し老朽化が顕著であり、安全性が危惧されることから移転・建替を進めます。
6	城川	高川	西予市図書交流館高川分館	転用	維持(長寿命化)		高川公民館に併設しており、耐震基準を満たし建築から37年経過し老朽化が進んでいます。図書館分館の利用実態を精査し、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。
7	城川	魚成	西予市図書交流館魚成分館	転用	維持(長寿命化)		魚成公民館に併設しており、耐震基準を満たし建築から29年経過しています。図書館分館の利用実態を精査し、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。
8	三瓶	三瓶	西予市図書交流館三瓶分館	継続	維持(改修)		三瓶文化会館との複合施設で、施設は耐震基準を満たし建築から32年経過しています。今後は三瓶文化会館の計画にあわせ対応します。
9	明浜	俵津	西予市俵津公民館(図書室)	転用	維持(長寿命化)		図書館分館の利用実態の精査による機能・配置の検討を受け、施設のあり方について調整します。
10	明浜	狩江	西予市狩江公民館(図書室)	転用	維持(長寿命化)		
11	宇和	多田	西予市多田公民館(図書室)	転用	維持(長寿命化)		
12	宇和	皆田	西予市下宇和公民館(図書室)	転用	維持(長寿命化)		
13	三瓶	蔵貫	西予市三瓶南公民館(図書室)	転用	維持(長寿命化)		
14	明浜	田之浜	西予市田之浜公民館(図書スペース)	転用	検討		
15	宇和	中川	西予市中川公民館(図書スペース)	転用	維持(長寿命化)		
16	宇和	石城	西予市石城公民館(図書スペース)	転用	維持(改修)		
17	宇和	明間	西予市明間公民館(図書スペース)	転用	維持(改修)		
18	宇和	田之筋	西予市田之筋公民館(図書スペース)	転用	維持(改修)		
19	野村	大和田	西予市大和田公民館(図書スペース)	転用	維持(改修)		
20	野村	溪筋	西予市溪筋公民館(図書スペース)	転用	維持(長寿命化)		
21	野村	中筋	西予市中筋公民館(図書スペース)	転用	維持(長寿命化)		
22	野村	横林	西予市横林公民館(図書スペース)	転用	維持(改修)		
23	野村	惣川	西予市惣川公民館(図書スペース)	転用	維持(長寿命化)		
24	三瓶	二木生	西予市三瓶北公民館(図書スペース)	転用	検討		

## 【個別施設の年度スケジュール】

番号	施設名	今後の方向性		年度スケジュール									
		機能 (ソフト)	建物 (ハード)	R5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)	R9年度 (5年目)	R10年度 (6年目)	R11年度 (7年目)	R12年度 (8年目)	R13年度 (9年目)	R14年度 (10年目)
○	基本方針 民間活力の活用、包括管理委託など管理運営手法の検討			管理運営手法の検討			検討結果に基づく対応						
6	西予市図書交流館高川分館	転用	維持 (長寿命化)	複合施設のあり方の検討 結果を踏まえ対応を検討			検討結果に基づき対応						
7	西予市図書交流館魚成分館	転用	維持 (長寿命化)	複合施設のあり方の検討 結果を踏まえ対応を検討			検討結果に基づき対応						
9	西予市俵津公民館 (図書室)	転用	維持 (長寿命化)										
2	西予市図書交流館	継続	維持 (長寿命化)	保全計画の策定			計画に基づく対応						
3	西予市図書交流館野村分館	継続	維持 (長寿命化)	保全計画の策定			計画に基づく対応						
4	西予市図書交流館遊子川分館	検討	維持 (長寿命化)										
10	西予市狩江公民館 (図書室)	転用	維持 (長寿命化)										
11	西予市多田公民館 (図書室)	転用	維持 (長寿命化)										
12	西予市下宇和公民館 (図書室)	転用	維持 (長寿命化)										
13	西予市三瓶南公民館 (図書室)	転用	維持 (長寿命化)										
15	西予市中川公民館 (図書スペース)	転用	維持 (長寿命化)										
20	西予市浜筋公民館 (図書スペース)	転用	維持 (長寿命化)										
21	西予市中筋公民館 (図書スペース)	転用	維持 (長寿命化)										
23	西予市惣川公民館 (図書スペース)	転用	維持 (長寿命化)										
1	西予市図書交流館明浜分館	検討	維持(改修)	改修計画の作成			必要な改修を行い継続使用						
8	西予市図書交流館三瓶分館	継続	維持(改修)	改修計画の作成			必要な改修を行い継続使用						
16	西予市石城公民館 (図書スペース)	転用	維持(改修)										
17	西予市明間公民館 (図書スペース)	転用	維持(改修)										
18	西予市田之筋公民館 (図書スペース)	転用	維持(改修)										
19	西予市大和田公民館 (図書スペース)	転用	維持(改修)										
22	西予市横林公民館 (図書スペース)	転用	維持(改修)										
5	西予市図書交流館土居分館	検討	建替	移転・建替			業務展開						
14	西予市田之浜公民館 (図書スペース)	転用	検討	施設のあり方の検討結果を踏まえ 対応を検討			検討結果に基づき対応						
24	西予市三瓶北公民館 (図書スペース)	転用	検討										

## エ 将来の概算事業費と効果額

番号	施設名	建物の今後の方向性	更新費用等の試算(千円) (40年間=令和5年~令和44年)		維持管理費(千円)		備考
			総務省型	長寿命型	単年度の比較		
			現状維持した場合	本計画を実施した場合	現状維持した場合	本計画を実施した場合	
2	西予市図書交流館(まなびあん)	維持(長寿命化)	542,703	217,081	32,348	32,348	
3	西予市図書交流館野村分館	維持(長寿命化)	304,140	413,630	10,423	10,423	
概算事業費(合計)			846,843	630,711	42,771	42,771	

①	②	③	④
更新費用の試算比較 ②-①		単年度の維持管理 経費の比較④-③	
▲ 216,132		0	

※ 上記以外の西予市図書交流館分館・図書室・図書スペースについては、併設施設にて計上。

## 2 社会教育施設

### (2) 博物館等

西予市の歴史遺産及び郷土の歴史、民俗等を広く紹介するとともに次代の市民に継承し、市民の知識教養の向上を図ることを目的として18施設を設置しています。

#### ア 施設概要 (経過年数は令和4(2022)年3月31日現在の状況。状況説明・収支はコロナ禍の影響が少ない令和元(2019)年度の実績。)

番号	地域	地区	施設名	基本情報											備考	施設番号	
				複合施設	構造	建築年	経過年数	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震性	貸室稼働率(%)	管理運営	職員数(人)	支出(千円)	収入(千円)			利用者数(人)(日平均)
1	明浜	高山	西予市明浜歴史民俗資料館		S	1992	30	596.64	○	-	直営	非1	1,469	9	137(0.4)		170
2	宇和	宇和	開明学校		W	1882	140	542.00	△ ○	-	直営	非2	6,992	2,097	6,158(21.5)	開明学校・申義堂・宇和歴史民俗資料館 学芸員1	175
3	宇和	宇和	宇和民具館		RC	2000	22	892.00	○	-	直営	非2	6,453	0	6,158(21.5)		177
4	宇和	宇和	高野長英の隠れ家		W	不明	-	12.00	△	-	直営	-	92	0	0		178
5	宇和	宇和	宇和米博物館(旧宇和町小学校)		W	1990	32	2,441.00	○	13.7	指定管理	指2	15,537 17,832	0 17,195	19,240(67.2)		182
6	宇和	宇和	宇和先哲記念館		RC	1996	26	1,039.65	○	14.7	直営	正2非3	14,290	68	5,078(17.7)		174
7	宇和	宇和	末光家住宅		W	1770	252	504.39	△	-	直営	0	416	0	1,286		179
8	宇和	宇和	鳥居門		W	1834	188	35.76	△	-	直営	-	40	0			180
9	宇和	宇和	旧武蔵		W	不明	-	164.46	○	-	直営	-	3,060	42	954(3.3)		181
10	宇和	宇和	考古センター		W	1978	44	189.00	△	-	直営	非5	6,548	579	0		183
11	野村	惣川	西予市野村茅葺き民家交流館 土居家		W	1827	195	496.00	△		指定管理	指4	4,461 11,542	0 11,812	5,300(17)	母屋・離れ	184
			西予市野村農村体験交流館 ・西予市野村農村文化伝承棟		W	2002	20	179.00	○								
12	城川	土居	西予市城川文書館		W	不明	-	150.00	△	-	直営	0	3,420	0	0	学芸員1	173
13	城川	土居	西予市城川どろんこ祭り保存館		RC	1995	27	299.00	○	-	直営	0	388	0	114(0.4)		185
14	城川	魚成	西予市ギャラリーしろかわ		RC	1993	29	1,104.20	○	-	直営	正2非1	43,026	2,756	7,805(30)		187
15	城川	土居	西予市城川地質館		W	1992	30	343.50	○	-	直営委託	非1	452	58	327(1.1)		188
16	城川	魚成	西予市城川歴史民俗資料館		W CB	1975	47	140.00	△ ○	-	直営	非1	3,651	44	0	古民家・考古資料館 学芸員1	171
17	城川	魚成	西予市城川郷土文化保存伝習施設		RC	1981	41	413.20	○	-	直営	0			456(1.5)		
18	城川	魚成	四国西予ジオミュージアム		S	2021	1	1,102.20	○		直営	正2非2	33,396	4,668	25,538(158)	学芸員3	22263

\* 管理運営欄が「指定管理」の施設の支出・収入欄の上段は市の収支額、下段は指定管理者の収支額  
四国西予ジオミュージアムは令和4年4月開館のため、予算額で記載しています。

#### イ 現状と課題

18の博物館等は、国・県・市の有形文化財の指定を受けた重要文化財となっている施設、重要伝統的建造物群保存地区に選定された特定物件に指定されている施設、地域の特徴的な文化や伝統芸能の継承、歴史資料・生活文化記録の収蔵や展示のために設置した施設、民間の施設を市が譲り受けている施設など、設置や活用の経緯は様々となっています。これら施設には、施設自体が文化財となっているもの、有形の文化財等を保存・展示する施設など、施設の設置目的や機能について特色があります。

施設は、耐震基準を満たしている施設は13施設(一部旧耐震基準の施設を含む)、旧耐震基準で建設し、耐震診断・耐震改修の未実施が8施設となっています。また、建築から35年以上経過している施設は7施設で、中でも建築から100年を超えている施設が4施設あり、このほか、建築年次不明の施設が3施設となっています。

開館日と開館時間は、城川地域の施設(番号12・13・14・15・16・17)と四国西予ジオミュージアムは年末年始と火曜日を除く毎日9時から17時まで(番号14は17時15分まで)、その

他の地域の施設は年末年始と月曜日を除く 9 時から 17 時まで（番号 10 は 17 時 15 分まで）で、管理運営は指定管理者制度で運営している施設が 2 施設、市が直営（委託を含む）で運営している施設が 16 施設（このうち学芸員の資格を持った職員を配置している施設は 4 施設＝番号 2・12・16）で、市が支出している管理運営費の総額は人件費や指定管理料を含め 143,691 千円、施設使用料など 10,321 千円の収入があります（予算額の 1 施設を含む）。

## 【各施設の状況】

### 1 西予市明浜歴史民俗資料館

鉄骨造 1 階建て・延床面積 596 m<sup>2</sup>で、1992（平成 4）年に新耐震基準で建設し、建築から 30 年経過しています。管理運営費は人件費を含め 1,469 千円を支出し、入館料として 9 千円の収入があります。

施設は、研修・企画展示室、展示室、収蔵庫などで構成。木彫りの立体地図（江戸時代）や縄文時代の釣針、藍文丸鉢（あいもんまるばち 染付芙蓉手大皿、江戸時代）などの市指定文化財をはじめ明浜町地域の歴史資料等のほか、田之浜出身の詩人関連の資料を展示し、年間約 100 人が入館しています。俵津村文書などの史料、写真乾板、民具を収蔵しています。

### 2 開明学校

学校校舎、申義堂、宇和歴史民俗資料館からなり、合計延床面積は 542 m<sup>2</sup>（施設の構成は以下のとおり）。このうち学校校舎は町民の寄付によって建設された擬洋風の小学校校舎で、国重要有形文化財（建造物）に指定されています。1973（昭和 48）年に大規模改修を行っているものの、耐震診断・耐震改修工事は未実施で、建築から 140 年経過しています。申義堂は、小学校校舎と同年代に建設されています。宇和歴史民俗資料館は、旧耐震基準で建設し、耐震基準は満たしていますが、建築から 46 年経過し老朽化が顕著となっています。

## 【施設の構成】

施設名	構造	延床面積（m <sup>2</sup> ）	建築年	経過年数
学校校舎	木造 2 階建	339	1882（明治 15）年	140 年
申義堂	木造 1 階建	104		
宇和歴史民俗資料館	木造 2 階建	99	1976（昭和 51）年	46 年

管理運営費は人件費を含め 6,992 千円を支出し、入館料として 2,097 千円の収入（民具館を含む）があります。

学校校舎では、明治時代の授業体験を行っているほか、当時の教育書類を展示しています。また、申義堂は机等を展示しているほか、歴史民俗資料館では考古資料（土器、青銅器等市文化財を含む）を展示し、年間約 6,200 人が入館しています。

### 3 宇和民具館

鉄筋コンクリート造 2 階建て・延床面積 892 m<sup>2</sup>で、2000（平成 12）年に新耐震基準で建設し、建築から 22 年経過しています。管理運営費は人件費を含め 6,453 千円を支出しています（入館料は開明学校に含む）。

施設は、町家展示室、収蔵庫展示室、常設展示室、研修室等で構成。約 6,000 点の民具を収蔵・展示し、年間約 6,200 人が入館しています。

### 4 高野長英の隠れ家

愛媛県指定史跡で、木造 1 階建て・延床面積 12 m<sup>2</sup>。江戸末期に建てられた建物で、蘭学者・高野長英が逃亡中に匿われたとされており、建物の 1 階部分が朽ちたため 2 階部分のみ保存、

展示されています。管理運営費は、手数料等 92 千円を支出しています。

## 5 宇和米博物館(旧宇和町小学校)

西予市指定有形文化財（建造物）で、第 1 校舎、第 2 校舎、講堂、調理室などで構成し、合計延床面積は 2,441 m<sup>2</sup>（施設の構成は以下のとおり）。このうち第 1 校舎等は、大正から昭和初期に建築し、1990（平成 2）年に現在の場所に移築されたもので、耐震基準は満たしています。調理室は新耐震基準で建設しています。

### 【施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年	経過年数
第 1 校舎	木造 1 階建	1,223	大正から昭和初期	-
第 2 校舎		495		
講堂		500		
調理室	鉄筋コンクリート造 1 階建	82	1992（平成 4）年	30 年

管理運営費は指定管理者が行い、指定管理者が支出する管理運営費は 17,832 千円で、指定管理料（11,600 千円）のほか利用料金収入（3,711 千円）、自主事業収入など合計 17,195 千円の収入があります。市は、指定管理料のほか、修繕料などをあわせ 15,537 千円を支出し、収入はありません。

施設は、貸しオフィス、会議室、カフェなどに使用されているほか、愛媛大学地域協働センター南予が入居し、年間約 19,300 人が利用しています。

## 6 宇和先哲記念館

鉄筋コンクリート造 2 階建て・延床面積 1,039 m<sup>2</sup>で、1996（平成 8）年に新耐震基準で建設し、建築から 26 年経過しています。管理運営費は人件費を含め 14,290 千円を支出し、使用料として 68 千円の収入があります。

施設は、1 階は市民ギャラリー、和室、常設展示室、2 階は展示室・収蔵庫等で構成。シーボルトの高弟であり卯之町で開業した二宮敬作の遺品や天保時代の卯之町全景図（市指定有形文化財）のほか、宇和の先哲にまつわる資料、書、絵画などの美術品などを収蔵・展示しています。市民ギャラリーと和室を貸出し（稼働率 14.7%）するなど、年間約 5,100 人が入館しています。

## 7 末光家住宅

市指定有形文化財（建造物）で卯之町重伝建地区の歴史的建造物。居宅と倉庫 3 棟からなり、合計延床面積は 504 m<sup>2</sup>（施設の構成は以下のとおり）。いずれも 1770（明和 7 年）に建築され、2004（平成 16）年に末光家が私費で保存修理を実施した後、市に寄付された建物です。

### 【施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年	経過年数
居宅	木造 2 階建	327	1770（明和 7）年	252 年
倉庫 1・2・3	土蔵造 2 階建	69・48・47		

維持管理費（光熱水費等）416 千円を支出し、収入はありません。

施設は、毎月第一日曜日に一般公開を行っているほか、申し込みがあれば貸出しをおこなっています（令和元年の貸出し実績はなし）。年間約 1,300 人が来場しています。

## 8 鳥居門

市指定有形文化財（建造物）で卯之町重伝建地区の歴史的建造物。木造 1 階建て・延床面積 35 m<sup>2</sup>。1834（天保 5）年に建築された門で、維持管理費（剪定手数料等）40 千円を支出し、収入はありません。

## 9 旧武蔵

卯之町重伝建地区の歴史的建造物で、木造 2 階建て・延床面積 164 m<sup>2</sup>。明治期に建てられた建物で、2015（平成 27）年に大規模な保存修理を行い、耐震基準を満たしています。維持管理費（光熱水費等）3,060 千円を支出し、使用料等 42 千円の収入があります。

施設は和室等で構成。小学校の社会科授業体験や P T A など各種団体による米炊き体験を行っているほか、毎月第一日曜日に無料開放し、年間約 1,000 人が利用しています。

## 10 考古センター

青年の家として設置した施設を 1996（平成 8）年に考古センターに転用したもので、木造 1 階建て・延床面積 189 m<sup>2</sup>。1978（昭和 53）年に旧耐震基準で建設し、耐震診断・耐震改修は未実施で、建築から 44 年経過し老朽化が進んでいます。管理運営費は人件費を含め 6,548 千円を支出し、国庫補助金（調査補助金）579 千円の収入があります。

施設は、作業室、収蔵室等で構成。坪栗遺跡など市内の遺跡から出土した考古資料の整理作業（洗浄、注記、接合、実測など）で使用しています。

## 11 西予市野村茅葺き民家交流館 土居家

1827（文政 10）年に建設された土居家の建物を復元した母屋のほか、離れ、農村体験交流館、農村文化伝承棟からなり、合計延床面積は 675 m<sup>2</sup>（施設の構成は以下のとおり）。このうち、母屋は 2014（平成 26）年に茅屋根のふき替え修繕を行っています。このうち、母屋は西予市有形登録文化財に指定され、離れは 1998（平成 10）年に大規模修繕を行っています。農村体験交流館・農村文化伝承棟はいずれも新耐震基準で建設し、建築から 20 年経過しています。

### 【施設の構成】

施設名	構造	延床面積（m <sup>2</sup> ）	建築年	経過年数
母屋	木造一部 2 階建	317	1827（文政 10）年	195 年
離れ	木造 2 階建	132	1920（大正 9）年	102 年
農村体験交流館	木造 2 階建	161	2002（平成 14）年	20 年
農村文化伝承棟	木造 1 階建	18		

開館日・開館時間は午前 9 時から午後 9 時、管理運営は指定管理者が行い、指定管理者が支出する管理運営費の総額は 11,542 千円で、指定管理料（4,113 千円）、施設使用料（407 千円）、自主事業収入など合計 11,812 千円の収入があります。市は、指定管理料のほか借地料・機器リース料あわせて 4,461 千円を支出し、収入はありません。

施設のうち母屋は展示室・会議室で、農村体験交流館はレストラン・会議室で、離れは宿泊施設（2 部屋）、農村文化伝承棟は茶会等のイベントフロアとして使用され、年間の利用者は 5,300 人となっています。施設の利用状況は以下のとおりです。

### 【利用状況】

部屋名	稼働率（%）	部屋名	稼働率（%）
母屋（展示室）	-	農村体験交流館（レストラン）	-
母屋（会議室）	8	農村体験交流館（会議室）	16
離れ（宿泊施設）	10	農村文化伝承棟	3

## 12 西予市城川文書館

愛媛銀行の建物を譲り受けたもので建築年は不明。木造 2 階建て・延床面積 150 m<sup>2</sup>。管理運営費は人件費（城川歴史民俗資料館等と兼務）を含め 3,420 千円を支出し、収入はありません。

施設は、1・2 階とも倉庫・作業場で、江戸時代の庄屋の文書や旧村役場文書などの文献資料を収蔵しています。利用者はほとんどありません。

### 13 西予市城川どろんこ祭り保存館

施設は保存館と便所（18 m<sup>2</sup>）で構成し、合計延床面積は 299 m<sup>2</sup>。このうち保存館は鉄筋コンクリート造 2 階建て・延床面積 281 m<sup>2</sup>で、新耐震基準で建設しています。

施設は城川歴史民俗資料館・城川郷土文化保存伝習施設と一括で管理し、維持管理費（光熱水費等）388 千円を支出し、収入はありません。

施設は、展示室、会議室等で構成。どろんこ祭り（平成 30 年度から祭事は休止）での利用や小学校の学習会で使用し、利用者は約 100 人となっています。

### 14 西予市ギャラリーしろかわ

西予市ギャラリーしろかわと第二収蔵庫からなり、合計延床面積は 1,104 m<sup>2</sup>（施設の構成は以下のとおり）。いずれも新耐震基準で建設しています。

#### 【施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年	経過年数
ギャラリー	鉄筋コンクリート造 1 階建	1,041	1993 (平成 5) 年	29 年
第二収蔵庫	鉄骨造 1 階建	63	2001 (平成 13) 年	21 年

管理運営費は人件費を含め 43,026 千円を支出し、施設使用料として 2,756 千円の収入があります。

施設は、展示室・研修室・ホール・収蔵庫等で構成。毎年、全国かまぼこ板の絵展覧会を開催するほか、かまぼこ板の絵審査員作品展、福井県坂井市の日本一短い手紙や松山市の子規記念博物館などとのコラボ展示や、館蔵品を利用した企画展示などで使用し、年間約 7,800 人が利用しています。

### 15 西予市城川地質館

三滝渓谷自然公園の中に設置されている施設で、木造 2 階建て・延床面積 343 m<sup>2</sup>。1992 (平成 4) 年に新耐震基準で建設し、建築から 30 年経過しています。管理運営は公園を一括して行い（業務委託）、当該施設の維持管理費（光熱水費等）452 千円を支出し、入館料・出版物売上として 58 千円の収入があります。

施設は、展示室・学習室・収蔵庫等で構成。黒瀬川構造帯の化石や岩石を調査研究・展示しているほか、小学生や市民のジオパーク学習に使用され、年間約 300 人が入館しています。なお、令和 4 年度からのジオミュージアムの開設に伴い、ジオミュージアムの収蔵庫に転用します。

### 16 西予市城川歴史民俗資料館

民家と考古資料館からなり、合計延床面積は 140 m<sup>2</sup>（施設の構成は以下のとおり）。このうち民家は城川地区に特徴的な茅葺きの農家建築を移築・保存しているもので、いずれも旧耐震基準で建設し、考古館は耐震基準を満たしていますが、民家は耐震診断・耐震改修は未実施で、移築から 47 年経過し老朽化が顕著となっています。

#### 【施設の構成】

施設名	構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年	経過年数
民家	木造 1 階建	80	1975 (昭和 50) 年	47 年
考古資料館	コンクリートブロック造 1 階建	60		

管理運営費・入館料は城川郷土文化保存伝習施設に計上しています。

施設では、県史跡の穴神洞遺跡出土資料と中津川洞穴遺跡出土資料など、城川町地域の縄文時代の資料を中心に展示し、年間約 500 人（城川郷土文化保存伝習施設含む）が入館しています。

## 17 西予市城川郷土文化保存伝習施設

鉄筋コンクリート造 2 階建・延床面積 413 m<sup>2</sup>で、1981（昭和 56）年に新耐震基準で建設し、建築から 41 年経過し老朽化が進んでいます。管理運営費（城川歴史民俗資料館を含む）は維持管理費（光熱水費や保守点検業務委託料など）3,651 千円を支出し、入館料、出版物売上げとして 44 千円の収入があります。

施設は、1・2 階ともに展示室で、市指定文化財の和鏡（菊花双鳥鏡、室町時代）、鹿面などをはじめ、城川町地域の歴史資料等を展示し、年間約 500 人（城川歴史民俗資料館含む）が入館しています。

## 18 四国西予ジオミュージアム

鉄骨造 1 階建・延床面積 1,102.20 m<sup>2</sup>で、2021（令和 3）年に新耐震基準で建設しています。

### 【施設の構成】

施設名	構造	延床面積（m <sup>2</sup> ）	建築年	経過年数
四国西予ジオミュージアム	鉄骨造 1 階建	1,102	2021（令和 3）年	0 年

管理運営費は人件費を含め 33,396 千円支出し、入館料や使用料として 4,668 千円の収入を見込んでいます。（いずれも令和 4 年度予算額）

施設は、四国西予ジオパークを標本、解説パネル、レプリカ等で紹介し、館内外を会場としたイベント等により、年間約 2 万人の利用を見込んでいます。

### 【課題の整理】

まちづくりを進めるうえでの柱の一つとして、継続的に文化財の維持・向上を図ることで市民の郷土愛を育て、今後 50 年先にも西予市固有の歴史的な町並みや伝統文化を継承するとともに、これらの取り組みから波及する交流人口の増加、定住の促進等による地域活性化につなげていくことが博物館等の役割として求められています。

文化財を取り巻く状況の変化を踏まえ、これまでの取り組みを継承するとともに、市民が文化財に積極的に関わることができる施設環境の整備について、文化財保存活用地域計画を策定し、法令等に基づき必要な補修等を行い、保存・活用することが課題となっています。

一方、博物館等には、貴重な資料の保存・展示に加え、体験・交流型の事業展開を図るなど有効活用することが求められており、学芸員の役割を明確にしたうえで、管理運営のあり方についても検討が必要となっています。

また、博物館等には昔の農耕用具等の生活資料が保存されており、施設によっては分類ごとに整理し展示していますが、各地域に類似の資料が複数存在していることや、一部は整理・公開等されず保管に止まっているものがあることから、歴史資料の収集、保存、除籍（廃棄）を進めていく収集方針を定め、収蔵・保存を行っていく対策も必要です。

## ウ 基本方針と個別施設の方向性、スケジュール

### 【基本方針】

#### 【機能】【建物】

国等の登録有形指定文化財など、新たに策定する文化財保存活用地域計画に基づき、法令等に従い、必要な補修を行い保存利活用を図ります。

上記以外の施設については、西予市の歴史・文化等を後世に引き継ぎ、西予市らしさを学習し理解するために重要な役割を果たしていることから、テーマ性を備えた施設と生活文化に関する文化等の展示施設に分類し、今後の利活用及び配置のあり方について検討します。

## 【管理運営】

利用者の増加が求められていることから、利用実態及び管理運営状況を精査し、学芸員の役割を明確にした上で、今後の管理運営手法について検討します。

## 【個別施設の今後の方向性】

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能(ソフト)	建物(ハード)		
1	明浜	高山	西予市明浜歴史民俗資料館	継続	維持(修繕) ・検討		西予市の「うみ」の歴史や文化を学習する展示施設として継続します。施設は、耐震基準を満たし、建築から30年経過しています。当面必要な修繕を行い継続使用するものの、利用実態を精査し、今後のあり方について検討します。
2	宇和	宇和	開明学校 (開明学校・申義堂)	継続	維持(補修)		開明学校の建物の展示のほか明治時代の授業体験を行うなど、教育に関する資料を後世に継承するため、今後も継続します。施設は、明治時代の建物であり、国の重要文化財にも指定されている歴史的建造物として、法令等に基づき補修等を行い、保存・活用します。
			開明学校 (宇和歴史民俗資料館)	継続	維持(修繕) ・検討		耐震基準を満たしているものの、建築から46年経過し老朽化が顕著となっています。当面、必要な修繕を行い継続使用しますが、利用実態を精査し、今後のあり方について検討します。
3	宇和	宇和	宇和民具館	継続	維持(修繕) ・検討		西予市の「さと」の歴史や文化を学習する展示施設として継続します。施設は、耐震基準を満たし、建築から22年経過しています。当面必要な修繕を行い継続使用しますが、利用実態を精査し、今後のあり方について検討します。
4	宇和	宇和	高野長英の隠れ家	継続	維持(補修)		卯之町の歴史文化を継承する施設の一環として、また、観光資源の一つとして寄与していることから継承します。施設は、県指定史跡に位置づけられており、法令等に基づき必要な補修等を行い、保存・活用します。
5	宇和	宇和	宇和米博物館 (旧宇和町小学校)	継続	維持(補修)		サテライトオフィス、貸し会議室、愛媛大学地域協働センターとして使用され、地域の活性化に寄与しています。第1校舎、第2校舎と講堂は大正時代に建築された建物で、市の文化財にも指定していることから、法令等に基づき必要な補修等を行い、保存・活用します。
6	宇和	宇和	宇和先哲記念館	継続	維持 (長寿命化)		宇和町ゆかりの偉人を顕彰する資料を展示し、観光資源としても寄与していることから継続します。施設は耐震基準を満たし、建築から26年経過しており、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
7	宇和	宇和	末光家住宅	継続	維持(補修)		卯之町の歴史文化を継承する施設の一環として、また、観光資源の一つとして寄与していることから継承します。施設は、市指定の文化財に位置づけられており、法令等に基づき必要な補修等を行い、保存・活用します。
8	宇和	宇和	鳥居門	継続	維持(補修)		卯之町の歴史文化を継承する施設の一環として、また、観光資源の一つとして寄与していることから継承します。施設は、市指定の文化財に位置づけられており、法令等に基づき必要な補修等を行い、保存・活用します。
9	宇和	宇和	旧武蔵	継続	維持(補修)		小中学生の社会体験や各種団体の生活体験などに活用され、観光資源としても寄与していることから継続します。施設は、重伝建地区の特定物件として位置づけられており、法令等に基づき必要な補修等を行い、保存・活用します。
10	宇和	宇和	考古センター	継続	検討		出土遺物の整理・調査・保存・活用をするため必要ことから機能は継続します。施設は、旧耐震基準の建物で、建築から44年経過し老朽化が進んでおり、施設の複合化や遊休施設の利用など施設のあり方について検討します。
11	野村	惣川	西予市野村茅葺き民家交流館 土居家(母屋・離れ)	継続	維持(補修)		母屋・離れは、伝統的茅葺民家、伝統的建造物として、法令等に基づき必要な補修を行い、保存・活用を図ります。
			西予市野村農村体験交流館 ・西予市野村農村文化伝承棟	継続	維持 (長寿命化)		都市と農村の交流の場となっていることから継続します。農村体験交流館・農村文化伝承棟は、耐震基準を満たし、建築から20年経過しており、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
12	城川	土居	西予市城川文書館	継続	検討		公文書を含む歴史的古文書などを収集・保存・研究し、後世に継承する文書館の機能は継続します。施設は、旧愛媛銀行の建物を譲り受けたもので、歴史的建造物として貴重な財産ですが、老朽化が顕著なことから、文化財保存活用地域計画策定の中で、今後のあり方について検討します。
13	城川	土居	西予市城川どろんこ祭り保存館	検討	検討		市指定無形民俗文化財に関する資料を展示・公開するとともに、伝承祭事を行うための機能は重要なものの、どろんこ祭り(祭事そのもの)が休止していることから、今後のあり方について検討します。施設は、耐震基準を満たし、建築から27年経過しています、上記の検討結果に基づき、施設のあり方について検討します。
14	城川	土居	西予市ギャラリーしろかわ	継続	維持 (長寿命化)		美術館機能を有する市内唯一の施設であり、耐震基準を満たし、建築から29年経過していることから、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能(ソフト)	建物(ハード)		
15	城川	土居	西予市城川地質館	移転・転用	維持(修繕)		黒瀬川構造帯をはじめとした四国ジオパークの特質や地球の成り立ちを展示する機能については、新設のジオミュージアム(令和4年4月開館予定)に移転し、ジオミュージアムの収蔵庫に転用します。施設は、耐震基準満たし、建築から30年経過の施設であり、必要な修繕を行い継続します。
16	城川	魚成	西予市城川歴史民俗資料館(民家)	継続	維持(補修)		古民家は江戸時代の建物を移築した歴史的建造物で、指定文化財と同等に扱い、別途策定する文化財保存活用地域計画に基づき、必要な補修等を行い、保存・活用を図ります。
			西予市城川歴史民俗資料館(考古資料館)	移転	検討		施設は、建築から47年経過し老朽化が顕著となっています。考古資料館の遺跡出土品の保存・展示機能は、移転を含め、施設のあり方を検討します。
17	城川	魚成	西予市城川郷土文化保存伝習施設	継続	維持(修繕)・検討		西予市の「やま」の歴史や文化を学習する展示施設として継続します。施設は、耐震基準を満たしているものの、建築から41年経過し老朽化が進んでいます。当面必要な修繕を行い継続使用するものの、利用実態を精査し、今後のあり方について検討します。
18	城川	魚成	四国西予ジオミュージアム	継続	維持(長寿命化)		地域の魅力を再発見し、郷土愛を育むとともに各産業に発展・波及させる施設として機能は継続します。施設は、耐震基準を満たし、令和3年8月に建設しており、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。

### 【個別施設の年度スケジュール】

番号	施設名	今後の方向性		年度スケジュール									
		機能(ソフト)	建物(ハード)	R5年度(1年目)	R6年度(2年目)	R7年度(3年目)	R8年度(4年目)	R9年度(5年目)	R10年度(6年目)	R11年度(7年目)	R12年度(8年目)	R13年度(9年目)	R14年度(10年目)
	基本方針 ・登録有形指定文化財等の保存・活用計画の策定 ・上記以外の施設の今後の利用、配置のあり方検討 ・管理運営手法の検討												
6	宇和先哲記念館	継続	維持(長寿命化)	文化財保存活用地域計画の策定									
11	西予市野村農村体験交流館 ・西予市野村農村文化伝承棟	継続	維持(長寿命化)	保全計画の策定									
14	西予市ギャラリーしろかわ	継続	維持(長寿命化)	文化財保存活用地域計画に基づく補修等、利活用									
18	四国西予ジオミュージアム	継続	維持(長寿命化)	文化財保存活用地域計画に基づく補修等、利活用									
2	開明学校(開明学校・申義堂)	継続	維持(補修)	文化財保存活用地域計画に基づく補修等、利活用									
4	高野長英の隠れ家	継続	維持(補修)	文化財保存活用地域計画に基づく補修等、利活用									
5	宇和米博物館(旧宇和町小学校) (第1・第2校舎・講堂)	継続	維持(補修)	文化財保存活用地域計画に基づく補修等、利活用									
7	末光家住宅	継続	維持(補修)	文化財保存活用地域計画に基づく補修等、利活用									
8	鳥居門	継続	維持(補修)	文化財保存活用地域計画に基づく補修等、利活用									
9	旧武蔵	継続	維持(補修)	文化財保存活用地域計画に基づく補修等、利活用									
11	西予市野村茅葺き民家交流館 土居家(母屋・離れ)	継続	維持(補修)	文化財保存活用地域計画に基づく補修等、利活用									
16	西予市城川歴史民俗資料館(民家)	継続	維持(補修)	文化財保存活用地域計画に基づく補修等、利活用									
15	西予市城川地質館	移転・転用	維持(修繕)	収蔵庫に転用し、必要な修繕を行い継続使用									
1	西予市明浜歴史民俗資料館	継続	維持(修繕)・検討	収蔵庫に転用し、必要な修繕を行い継続使用									
2	開明学校(宇和歴史民俗資料館)	継続	維持(修繕)・検討	必要な修繕を行い使用 検討結果に基づき反映									
3	宇和民具館	継続	維持(修繕)・検討	利活用、配置のあり方の検討									
17	西予市城川郷土文化保存伝習施設	継続	維持(修繕)・検討	利活用、配置のあり方の検討									
10	考古センター	継続	検討	移転を含め、今後のあり方の検討									
12	西予市城川文書館	継続	検討	文化財保存活用地域計画策定の中で今後のあり方の検討									
13	西予市城川どろんこ祭り保存館	検討	検討	移転を含め、施設のあり方の検討									
16	西予市城川歴史民俗資料館(考古資料館)	移転	検討	移転を含め、今後のあり方の検討									

## エ 将来の概算事業費と効果額

番号	施設名	建物の今後の方向性	更新費用等の試算(千円) (40年間=令和5年~令和44年)		維持管理費(千円)		備考
			総務省型	長寿命型	単年度の比較		
			現状維持した場合	本計画を実施した場合	現状維持した場合	本計画を実施した場合	
1	西予市明浜歴史民俗資料館	維持(修繕)・検討	387,816	211,211	1,469	1,469	
2	開明学校(開明学校・申義堂)	維持(補修)	220,350	169,500	6,315	6,315	
	開明学校(宇和歴史民俗資料館)	維持(修繕)・検討			677	677	
3	宇和民具館	維持(修繕)・検討	579,800	303,280	6,453	6,453	
4	高野長英の隠れ家	維持(補修)			92	92	
5	宇和米博物館(旧宇和町小学校)	維持(補修)	1,533,350	1,184,335	15,537	15,537	
6	宇和先哲記念館	維持(長寿命化)	675,773	353,481	14,290	14,290	
7	末光家住宅	維持(補修)	213,018	163,860	416	416	
8	鳥居門	維持(補修)			40	40	
9	旧武威	維持(補修)			3,060	3,060	
10	考古センター	検討			6,548	6,548	
11	西予市野村茅葺き民家交流館土居家(母屋・離れ)	維持(補修)	364,300	246,693	1,333	1,333	
	西予市野村農村体験交流館・西予市野村農村文化伝承棟	維持(長寿命化)			3,128	3,128	
12	西予市城川文書館	検討			3,420	3,420	
13	西予市城川どろんこ祭り保存館	検討			388	388	
14	西予市ギャラリーしろかわ	維持(長寿命化)	717,730	375,428	43,026	43,026	
15	西予市城川地質館	維持(修繕)	223,275	171,750	452	452	
16	西予市城川歴史民俗資料館(民家)	維持(補修)			528	528	
	西予市城川歴史民俗資料館(考古資料館)	検討			396	396	
17	西予市城川郷土文化保存伝習施設	維持(修繕)・検討	268,580	223,128	2,727	2,727	
18	四国西予ジオミュージアム	維持(長寿命化)	275,500	242,440	33,396	4,668	
概算事業費(合計)			5,459,492	3,645,106	143,691	114,963	

①	②	③	④
更新費用の試算比較 ②-①		単年度の維持管理 経費の比較④-③	
▲ 1,814,386		▲ 28,728	